

News Release

各位

2023年10月6日
株式会社エナリス

エネルギーリソースアグリゲーション事業協会(ERA)に参加

株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:都築実宏)は2023年10月6日、同日設立されたエネルギーリソースアグリゲーション事業協会(ERA)に参加いたします。

【エネルギーリソースアグリゲーション事業協会(ERA)とは】

ERAは、特定卸供給事業者(アグリゲーター)、エネルギー事業者やメーカー、システムベンダー、金融機関、有識者等、幅広い業種から多くの事業者等が参画して設立した団体です。



エネルギーリソースアグリゲーション事業の健全な発展を図るとともに、分散型エネルギーリソース(DER)の活用を通じ電力需給の安定やエネルギーセキュリティの向上、カーボンニュートラルの実現に貢献し、我が国の経済と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

▶ERAについては本リリース【別紙】参照

【エナリスとアグリゲーション】

エナリスは、2016年度から国のVPP実証事業にコンソーシアムリーダーとして参画し、ICT×IoT×AI技術を活用して多種多様かつ大量なDERを正確に制御して電力系統に活用するVPP(バーチャル・パワー・プラント)^{※1}技術や仕組みを開発してきました。

2017年度からは、アグリゲーターとして調整力公募に参加し、デマンドレスポンスによって電力を供出する実サービスを開始。2022年度には特定卸供給事業者として初めてライセンス^{※2}を取得した、第一号のアグリゲーターで、日本で初めてEVによる調整力公募の参加を支援しました。

エナリスは、アグリゲーション事業のさらなる発展には、事業者同士が連携を深め、国や関係機関への提言や制度整備を推し進めることが必要であるという思いから、ERAに参加することとしました。なお、エナリスはERAの理事会社をつとめ、執行役員事業企画本部長の小林輝夫が会社代表として参画します。

エナリスは、ERAへの参加を通じ、アグリゲーション事業の発展に貢献するとともに、カーボンニュートラルと電力の安定供給の両立を実現する新しい電力システムの構築に貢献します。

※1: 太陽光発電、蓄電池、電気自動車、省エネなど小規模な設備にデジタル技術を用いて統合制御することで火力発電所のような大型発電所と同様の機能を提供する技術。

※2: 2022年4月に改正された電気事業法に新たに規定されたライセンス

別紙

エネルギーリソースアグリゲーション事業協会の概要
(英文名: Energy Resource Aggregation Business Association)

1. 目的

エネルギーリソースアグリゲーション事業の健全な発展を図るとともに、分散型エネルギーリソース(DER)の活用を通じ電力需給の安定やエネルギーセキュリティの向上、カーボンニュートラルの実現に貢献し、我が国の経済と国民生活の向上に寄与します。

2. 事業内容

- (1) DER活用拡大のための調査研究および企画
- (2) DER活用拡大のための情報発信
- (3) 社会や政府への意見や要望の表明
- (4) 関係機関との交流及び連携
- (5) 会誌等の編集及び出版に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

3. 会員数(詳細は別紙参照〔参加予定を含む〕) ※10月6日時点

正会員 23社
賛助会員 51社
有識者会員 5名

3. 役員 ※50音順

会長理事 E-Flow 合同会社(会員代表者:川口 公一)
副会長理事 株式会社 Shizen Connect(会員代表者:平尾 宏明)
理事 株式会社エナリス(会員代表者:小林 輝夫)
理事 エネルエックス・ジャパン株式会社(会員代表者:小林 将大)
理事 ElectroRoute Japan 株式会社(会員代表者:谷 桂介)
理事 カスタマイズドエナジーソリューションズジャパン株式会社
(会員代表者:河原 伸自)
理事 デジタルグリッド株式会社(会員代表者:松井 英章)
理事 電源開発株式会社(会員代表者:加納 正照)
理事 東北電力株式会社(会員代表者:恩田 徳雄)
理事 丸紅新電力株式会社(会員代表者:松田 明広)

※監事については、別途選任を行う

4. 事務局

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
本件のお問い合わせは下記にお願いいたします。

era@tky.ieej.or.jp